

# 北海道中央バス株式会社のバス路線廃止に伴う後継事業者の選定結果について

平成 20 年度 7 月臨時市長記者会見資料

2008.7.31

## 選定経過

- 7 月 8 日 運行希望の意向確認に係る事前の情報提供
- 7 月 16 日 石狩協議会のバス事業者 11 社に対し、運行意向を照会
- 7 月 28 日 回答期限

## 回答内容

下記の 2 社において継続運行に関心を示していただいた。

バス事業者	運行に当たっての条件
ジェイ・アール北海道バス株式会社	営業所の確保など諸々の条件での協議が必要
北都交通株式会社	一部の路線に限った場合には運行が可能

## 選定結果

- ・ 上記 2 社と具体的な協議を行ったところ、ジェイ・アール北海道バス株式会社から、9 路線 26 系統の一体的な運行について基本的な同意を得られたが、同社からは、市からの補助金を受けての自主運行を予定するが、一度に大量の路線運行を引き受けることから、その初期投資について市が負担することなどが求められた。
- ・ 協議の結果、札幌市としては、ジェイ・アール北海道バスに過度な負担が生じないように、同社が自主運行を行う前に、札幌市が主体となって、地域との話し合いによる適切な運行水準への見直しを進めることとし、

平成 23 年度までは市の業務委託により同社が運行を行い、12 月 21 日以降、市が地域との話し合いによる運行水準の検証を進め、その後、24 年度から同社の自主運行に移行する

との内容で、本日、最終的に大筋で合意。

- ・ 今後、費用負担などを含め議会に報告した上で、細部(詳細)について詰めを行い、契約を締結する予定。

## その他

- ・ 今回の白石営業所の 9 路線 26 系統に係る対応は、あくまでも地域の足に空白を生じさせないための緊急避難的な措置であり、今後、バス事業を取り巻く厳しい環境に対応していくため、別途、補助制度の見直しなど、バス路線の維持方策について見直ししていく予定。
- ・ 運行についての詳細が固まりしだい地域への説明会で報告するほか、広報さっぽろなどにより、お知らせしてまいります。
- ・ 今回、ジェイ・アール北海道バス株式会社には、札幌市と共同で公共交通事業者としての社会的責任を果たすとの判断をしていただき、深くお礼を申し上げたい。  
また、今回はジェイ・アール北海道バス株式会社をお願いすることになったが、石狩協議会のバス事業各社においては、地域の足の確保に向けて、真剣に検討していただいたことに深く感謝したい。

問い合わせ先

市民まちづくり局総合交通計画部交通企画課

電話：211-2492